

令和元年度日本小児外科学会
第8回定例理事会議事録

日時：令和2年5月20日(水)12:00～15:00

会場：Web会議

出席者：田尻達郎(理事長)、増本幸二(副理事長)、山高篤行(理事・会長)、黒田達夫(理事・次期会長)、臼井規朗、金森 豊、野田卓男、浮山越史、大植孝治、田中 潔(以上理事)、窪田正幸、八木 實(以上監事)、越永従道(前理事長)、藤野明浩(庶務委員長)、浦尾正彦(財務会計委員長)、上原秀一郎(財務会計副委員長)、宮野 剛(庶務委員)、米田光宏(施設認定委員会委員長)、小野 滋(専門医認定委員会委員長)、古村 眞(専門制度庶務委員会委員長)、廣部誠一(第36回秋季シンポジウム会長)、仁田尾慶太、登坂早百合(以上事務局)

欠席者：照井慶太(庶務副委員長)

議事案件

1. 第8回定例理事会の議事録署名人は、金森 豊理事、大植孝治理事とした。
2. 令和元年度第7回定例理事会議事録、令和元年度第1回臨時理事会議事録、令和元年度第2回臨時理事会議事録につき全会一致にて承認された。

3. 審議事項

- 1) 第57回学術集会について(山高会長、宮野庶務委員)

山高会長、宮野庶務委員より資料に基づき、進捗状況が報告され、承認された。

- ・クレジット付帯セッションは設定しない。
- ・ポスター発表がCOVID-19の状況により開催形式を変更する可能性がある。
- ・Web開催への備えとして発表動画の事前登録を行う。
- ・Kevin Lally先生を名誉会員として記載する。
- ・Web開催に伴い追加経費が生じたが、懇親会中止予定にて、参加費は次回理事会までに調整する。

日時：令和2年9月19日(土)、20日(日)、21日(月祝)

会場：都市センターホテル

テーマ：小児医療システムの擁護と支援：子どもが最初、いつだって

- 2) 第58回学術集会について(黒田次期会長)

黒田次期会長より、プログラム案等の進捗状況が報告され、承認された。

演題募集については募集期間が短いため倫理審査を終えていないと演題を受け付けられないなど厳格な運用は見送ることが提案されたが、その点については継続審議とした。

日時：令和3年4月28日(水)、29日(木)、30日(金)

会場：パシフィコ横浜ノース

テーマ：自然の臣たるなかれ

3) 第 36 回秋季シンポジウムについて(廣部秋季シンポジウム会長)

廣部秋季シンポジウム会長より資料に基づき、進捗状況が報告され、承認された。

秋季シンポジウムは完全 Web 開催が提案され、承認された。また、同時開催を予定していた PSJM に関してはそれぞれの研究会の会長・世話人に開催を委ねることとした。会場のキャンセル料の負担については、各研究会と今後検討していく事となった。

日時：令和 2 年 11 月 7 日 (土)

会場：Web にて実施予定

テーマ：手術の新しいデバイスと工夫

4) 第 37 回秋季シンポジウムについて(金森次期秋季シンポジウム会長)

金森次期秋季シンポジウム会長より、進捗状況が報告され、承認された。

PSJM との共催の可否を含めて今後検討する予定であると報告された。

日時：令和 3 年 10 月 30 日 (土)

会場：ベルサール神田

テーマ：小児外科疾患に対する再生医療・細胞療法研究と応用

5) 第 38 回秋季シンポジウムについて(野田次々期秋季シンポジウム会長)

野田次々期秋季シンポジウム会長より、進捗状況が報告され、承認された。

日時：令和 4 年 10 月 29 日 (土)

会場：岡山コンベンションセンター

テーマ：小児外科治療後のサルベージ

6) 社員総会(評議員会)兼総会進行手順について(藤野庶務委員長)

藤野庶務委員長より、評議員会・総会進行手順について説明された。

7) 次々期会長、施設認定委員会委員、専門医認定委員選任について(藤野庶務委員長)

藤野庶務委員長より、選挙結果、投票詳細が伝えられた。

8) 各種委員会報告および審議事項

(1) 庶務委員会(藤野委員長)

藤野委員長より、資料に基づき、以下の点について報告・提案がされ、承認された。

・ 来年の評議員選挙での選挙管理委員選任で杏林大学小児外科の渡邊佳子先生が承認された。

・ Webex の使用対象を学会事務局、学会理事、各種委員会委員長、また本学会員で利用申

請を行い庶務委員長の承認を得たものに限定すると提案され、承認された。

(2)財務会計委員会(浦尾委員長)

浦尾委員長より、令和元年度収支決算報告、令和2年度収支予算案につき説明があり、了承された。

- ・評議員システムは学会支援機構のシステムをレンタルする予定。専門医制度委員選挙の結果からみても、現地での投票に比べ、電子投票の方が投票率が高かったため、今後、電子投票に移行予定。

(3)専門医制度委員会(米田施設認定委員会委員長、小野専門医認定委員会委員長、古村専門医制度庶務委員会委員長)

まず、田尻理事長より、新型コロナウイルスの影響を鑑みた外科学会の今年度の専門医制度に関する対応の方向性が報告された。

米田施設認定委員会委員長、小野専門医認定委員会委員長、古村専門医制度庶務委員会委員長より資料に基づき、以下の点について報告がされ、承認された。

- ・新型コロナウイルスの影響により、手術件数の減少が見込まれるため何らかの救済処置が必要。

- ・外科専門医との連動更新においてサブスペシャリティとして足並みをそろえる。

- ・認定施設と小児外科専門医ともに期間を延長して緩和させる案と期間は変えず手術症例数を緩和させる案が委員会に出ており、日本外科学会の動きを見て対応を検討する。

- ・小児外科専門医筆記試験について、日本外科学会は年度内である年明けに延期して開催予定であるが、本学会は当初の予定通り11月15日に行う方向で準備を進めているが、状況に応じて変更も考えられることも含め検討を続ける。また会場も三密にならないよう対応を検討している。

- ・新規申請については通常通り審査を行う予定。

- ・浦尾財務会計委員長より専門医制度の財政面に関しては毎年ばらつき有るが、1年延期となっても特に問題ないとコメントされた。

- ・施設認定については2020年の症例数が認定に影響がある施設のみ別の基準を設けることが検討されており、新規の認定施設にもこの案で対応していく方向で審議しているが、日本外科学会の様子を見て臨機応変に対応していく。2020年度の症例に関しては来年以降から影響が出てくるので、来年からこの案を進める予定である。

(4)機関誌委員会(大植担当理事)

大植担当理事より、以下の点について報告がされ、承認された。

- ・論文の審査を行っている中で新型コロナウイルスの関係で査読辞退者がでた。

- ・来年の優秀論文の選定を秋ごろから行う予定。

(5)国際・広報委員会(田尻担当理事)

田尻担当理事より、今回特に報告事項がない旨述べられた。

(6)保険診療委員会(浮山担当理事)

浮山担当理事より、以下の点について報告がされ、承認された。

- ・ 5月末までに汎用され安定確保に特に配慮が必要な医薬品の選定について委員内で検討中。

(7) 教育委員会(大植担当理事)

大植担当理事より、以下の点について報告がされ、承認された。

- ・ 卒後教育セミナーに関するアンケート結果は不満の声もなく、現状のままで行っていく方針。今年開催予定のセミナーが中止になったため、内容自体を来年に繰り越す方向。
- ・ 内視鏡手術セミナーに関するアンケート結果は年に2回以上の開催希望が多く、テキストに関しては卒後教育セミナーと一緒にしているので分けてもらいたいと意見があった。今後、委員会で検討していく方針である。今年開催予定のセミナーが中止になったので卒後教育セミナー同様に内容自体を来年に繰り越す方向。
- ・ 小児外科用語関連で、「優性」、「劣性」という用語について、「優性遺伝」を「顕性遺伝」、「劣性遺伝」を「潜性遺伝」とすることが日本医学会医学用語管理委員会で決定し、今後は、5年程度の期間を経た上で、顕性遺伝、潜性遺伝と表記する予定となっている。
- ・ 卒後教育セミナーを今後、専門医取得の必須化にしていくか委員会で検討している。

(8) 悪性腫瘍委員会(大植担当理事、上原委員長)

大植担当理事、上原委員長より、以下の点について報告がされ、承認された。

- ・ 日本小児外科学会悪性腫瘍登録の2014年追跡調査の準備を行っている最中であると報告された。

(9) 学術・先進医療検討委員会(臼井担当理事)

臼井担当理事より、以下の点について報告・提案があり、承認された。

- ・ 学術アンケート調査について28件中11件が未報告であり報告依頼したうち6件について研究報告が追加であがってきたため受理。ホームページに掲載し会員に報告予定。残り5件についても継続して報告を完了するようフォローする予定。
 - ・ 「新型コロナウイルス感染症と小児外科疾患」に関する海外論文の要旨について海外の論文などを検索し抄録をまとめたものを約一か月ごとにホームページに更新していく方針。
 - ・ 小児外科領域でのエビデンス：systematic review 論文の紹介について45編を追加し、合計150編になった。目次も新たにして会員が閲覧しやすいようにした。
 - ・ 新生児全国調査の進捗状況
- 算出が終わり今後は、委員会報告書の作成、学術集会での発表。そして資料をまとめ、結果をホームページに掲載する、という方向性である。

(10) 倫理・医療安全管理委員会(野田担当理事)

野田担当理事より、以下の点について報告・提案があり、承認された。

医療関係訴訟の鑑定に必要な候補者名簿、医療事故調査に関する外部調査員候補者名簿

を今年度内に更新する。

(11) データベース委員会(田中担当理事)

田中担当理事より、以下の点について報告がされ、承認された。

・昨年度の NCD データ(複数領域)を利用した研究申請について、NCD 側と名古屋大学とでの話し合いの結果、複数領域を用いての研究は困難と判断され名古屋大学は降り、今後は本学会のデータのみ使用して申請し直す方向であると報告された。

・本年度の小児外科 NCD データ使用計画の申請が 9 件あり 2 次審査に入っている。例年 2 件採用であったが昨年が 1 件のみ採用だったので本年度は 3 件までにすることを NCD 側に問い合わせし了承を得た。

(12) 小児救急検討委員会(田中担当理事)

田中担当理事より、以下の点について報告がされた。

・新型コロナウイルスに関するアンケートについては、状況がどんどん変化し回答をもらってもタイムラグが発生してしまうため、今後また追加提言が必要になった場合、随時検討していく方向になった。出口戦略の提言については本学会としての提言が残ることが必要であると考え、委員に意見を求めているところであると報告され、次回理事会までにまとめる方向である。

(13) ワークライフバランス検討委員会(浮山担当理事)

浮山担当理事より、今回特に報告事項がない旨述べられた。

(14) トランジション検討委員会(田中担当理事)

田中担当理事より、今回特に報告事項がない旨述べられた。

トランジションに対するアンケート調査の修正したものができたので、近日中にメール審議予定。

(15) 規約委員会(金森担当理事)

金森担当理事より、今回特に報告事項がない旨述べられた。

(16) 研究倫理委員会(野田担当理事)

野田担当理事より、今回特に報告事項がない旨述べられた。

(17) NCD 連絡委員会(臼井担当理事)

臼井担当理事より、以下の点について報告・提案があった。

・小児外科専門医の地域ごとの適正数に関するデータ集計依頼の見積もりで 445,000 円かかることが報告され、今後 1 週間を目途に特に意見が出なかった場合、承認されることとなった。

(18) ガイドライン委員会(金森担当理事)

金森担当理事より資料に基づき、以下の点について報告がされ、承認された。

・新規のガイドラインを 13 件追加し、近々、一覧をホームページに掲載予定。

・腸回転異常症診療ガイドライン作成については systematic review が終わる段階まで来ており、これから決め手に入っていく予定。

・次期ガイドライン作成疾患候補は「胃軸捻転」と「出生前診断される卵巣嚢腫』であることが報告された。

(19)利益相反委員会(金森担当理事)

金森担当理事より、今回特に報告事項がない旨述べられた。

(20)総合調整委員会(増本委員長)

増本委員長より、以下の点について報告がされ、承認された。

総合調整委員会の日程は確認できたのでこれから通知する予定。

(21)日本外科学会理事会(越永前理事長)

理事長に森正樹先生、副理事長に池田徳彦先生が選任され議決。社員総会でも書面評決で議決となった。

(22)四者協関連(越永前理事長)

越永前理事長より、今回特に報告事項がない旨述べられた。

4. 報告事項

1)理事長報告(田尻理事長)

(1)日本医学会からの通信文「2019年度日本医学会新規加盟学会について」を受領した。

(2)国立循環器病研究センターからの通信文「病院長・オープンイノベーションセンター長就任のお知らせ」を受領した。

(3)日本外科学会からの通信文「定期学術集会の開催日程のお知らせとお願い」を受領した。

(4)日本臓器学会からの通信文「法人化のお知らせ」を受領した。

(5)日本臨床検査医学会からの通信文「理事長の退任と就任のお知らせ」を受領した。

(6)日本医学会からの通信文「日本医学会公開フォーラム開催形態変更及び日本医学会シンポジウムの延期について」を受領した。

(7)日本小児麻酔学会からの通信文「一般社団法人の登記完了のお知らせ」を受領した。

(8)「2月14日班会議及び小児関連学会代表委員との情報交換会」を受領した。

(9)日本医学会からの通信文「アルカリホスファターゼ及び乳酸脱水素酵素の測定法の変更に係る対応について」を受領した。

(10)日本医学会からの通信文「「社会還元加速プログラム(SCORE)チーム推進型」公募開始について」を受領した。

(11)日本医療研究開発機構からの通信文「成育関係の学会・団体の方々へ公募開始のご案内」を受領した。

(12)日本医学会からの通信文「ポリファーマシーに対する啓発資材の活用について」を受領した。

(13)日本医学会からの通信文「デュピルマブ(遺伝子組換え)製剤の最適使用推進ガイドラインについて」を受領した。

(14)日本医学会連合からの通信文「COVID-19 関連ウェブサイトの情報提供について」

を受領した。

(15) 中外製薬株式会社からの通信文「ピシバニール 不採算品再算定の件」を受領した。

(16) 日本医学会からの通信文「医療機関における新型コロナウイルス感染症への対応について」を受領した。

(17) 日本医学会からの通信文「輸血療法の実施に関する指針」の一部改正について」を受領した。

(18) 日本医学会からの通信文「血液製剤等に係る遡及調査ガイドライン」の一部改正について」を受領した。

(19) NCD からの通信文「NCD 理事会・社員総会(318 開催)の議事録」を受領した。

(20) 日本医学会からの通信文「日本癌治療学会事務局からのご連絡」を受領した。

(21) 日本癌治療学会からの通信文「がん患者(外科治療、放射線治療あるいは抗がん薬物療法を要するがん患者)に対する SARS-CoV-2(新型コロナウイルス)核酸検出検査の保険収載の要望書」を受領した。

(22) 厚生労働省からの通信文「新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた難病・小慢医療費助成における申請の取り扱いについて」を受領した。

(23) 日本医学会連合からの通信文「緊急提言の最終案について」を受領した。

(24) NCD からの通信文「NCD 記念誌一般公開のお知らせ」を受領した。

(25) 日本医学会連合からの通信文「緊急提言「進行する医療崩壊をくい止めるために」の提出について(報告)」を受領した。

(26) 日本医学会からの通信文「再生医療等の安全性の確保等に関する法律施行規則及び臨床研究法施行規則の一部を改正する省令の施行について」を受領した。

(27) 日本外科学会からの通信文「COVID19 出口戦略の提案」を受領した。

2) 次回定例理事会日程の確認(田尻理事長)

次回定例理事会は令和2年6月24日(水)11:00~16:00 大阪大学東京オフィスにて開催することが確認された。

理事長

理事

理事